

(ジャンル)	(キーワード)
1 自然環境	自然や動植物とのふれあい・観察、自然環境の保全など
2 水環境	水質、下水道など
3 大気環境	大気汚染と法規制など
4 廃棄物・リサイクル	ごみの減量化、グリーン購入、3R推進など
5 地球環境	酸性雨、地球温暖化、CO2削減行動など
6 エネルギー	自然エネルギー、バイオマスエネルギーなど
7 産業と環境	環境経営、農林水産業など
8 歴史と環境	地域固有の生活文化、文化財など
9 生活と環境	消費、食文化、住環境など
10 その他	総合的な内容など上記の分類に当てはまらないもの

1 自然環境					
事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容		所属名	
1 森林環境学習「やまのこ」事業	県内小学校 4年生児童	森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むため、学校教育の一環として、県内小学校4年生を対象に、森林体験交流施設やその周辺の森林を使った体験型の学習を展開する。		琵琶湖環境部	森林政策課
2 協働の森づくり普及啓発事業「森づくり県民講座」	一般県民	森林の持つ多面的機能を高度に発揮させる森林づくりを県民全体で取り組んでいくという気運を高めるため、一般県民等に対して、森林の知識及び森づくり活動をする上での知識を得る機会を提供する。		琵琶湖環境部	森林政策課
3 緑のダムづくり啓発活動(フクロウ先生の森・守塾)	小学生 一般県民	自助共助による防災対策の推進や、緑のダムづくりによる防災対策がいかに重要であるかを地域へ普及するとともに、林野公共事業の推進が本県の環境・防災対策上いかに重要な位置づけにあるかを県民に向け発信していく。 (1)がんばれフクロウ君塾・次代を担う子どもたちへ！次代を担う子どもたちに、「緑のダムづくり」が環境や地域を守る上でいかに大切かを、啓発模型やクイズをつうじて学んでもらう。 (2)森・守講座……地域でのもりづくりの推進のために！間伐の重要性や自助共助による防災対策の推進を啓発するとともに、地域において関心のある「緑のダムづくり」施策等を紹介する。		琵琶湖環境部	森林政策課 森林保全課
4 漁民の森づくり	漁業者、一般	琵琶湖の水源涵養による漁場環境保全の一環として、漁業者が主体となって植樹に取り組み、漁業者と森林事業者、県民の交流と漁場環境保全の意識啓発の場とする。		農政水産部	水産課
5 砂防出前講座	小中学生・教職員・災害時要援護者・施設職員・一般県民	近年多発する集中豪雨や地震により土砂災害はいつ起きても不思議ではない。県民一人一人の防災意識の向上を図り、土砂災害による死者0を目指すため、土砂災害についての学習の場を提供する。 プロジェクター等を用いて土砂災害の種類・前兆現象や避難行動の方法等をわかりやすく説明する。また、実際に現地において「砂防えん堤」や「よう壁工」等を見ながら、砂防施設の役割などについて学習する。		土木交通部	砂防課
6 びわこ地球市民の森のつどい	県民 森づくりサポーター 緑の少年団等	春季における都市緑化推進運動の一環として、都市緑化の普及啓発を行うため「びわこ地球市民の森」においてつどいを開催し、植樹等森づくりの記録発表や記念植樹、森の自然観察(野外写生、森の生き物観察など)を実施する。		土木交通部	都市計画課
7 びわこ地球市民の森森づくりサポーター活動開催	森づくりサポーター 県民	県民共有の自然的財産である「地球市民の森」を県民との協働で創造していくため、植樹された苗木の維持管理として施肥や除草を行うほか、自然教室を開催する。		土木交通部	都市計画課
8 甲賀森林塾	林業関係者等	森林の公益的機能の高度発揮を踏まえ、森林の管理、林業技術の向上のために研修会等を開催し、森林の維持管理技術を習得、伝承し、互いの情報交換を図る。		甲賀森林整備事務所	-
9 森林環境学習支援事業	小学生	より体系的な森林・林業への理解を深めるため、年間を通じての体験学習を希望校にて実施する。		湖北森林整備事務所	-

10	姉川ダム自然観察会	一般	ダム周辺の豊かな自然環境をフィールドとして自然観察会や地元特産の山菜料理の紹介などを行い、環境保全への意識を高め、上下流域の交流を深めて、水源地域の活性化を図る。	長浜土木事務所	河川砂防課(姉川ダム)
11	びわこルールキッズ事業	県内外の小中学生	夏休み期間中に外来魚のノーリリース(釣り上げた魚の再放流禁止)に協力してもらえる小中学生「びわこルールキッズ」を募集し、県内外の小中学生に外来魚の釣り上げを通じて琵琶湖の生態系の現状を知ってもらい、環境問題への意識の啓発とノーリリースの周知・定着を図る。 ・7月23日(土)...大津市大津港にてびわこルールキッズの登録会を兼ねた外来魚駆除釣り大会開催 ・7月31日(日)...びわこルールキッズ対象に西之湖および大中で外来魚駆除釣り体験と農作物の収穫体験等を開催 ・9月17日(土)...びわこルールキッズ報告者の中から優秀な成績を収めたキッズに対する知事表彰状を授与する	琵琶湖環境部	琵琶湖政策課(レジャー対策室)
12	朽木いきものふれあいの里管理運営事業	一般	自然とふれあう機会を提供することにより自然環境保全意識を高めるため、自然観察会・里山保全活動・幼児の体験的環境学習指導者講習会、広報紙の発行、施設管理等を行う。	琵琶湖環境部	自然環境保全課
13	野生鳥獣保護対策事業(介護ボランティア講習会、県民啓発)	一般県民	野生鳥獣に対する理解を深め、共存について住民との合意形成を図ることを目的として、講習(野生鳥獣介護ボランティア講習)を行う。	琵琶湖環境部	自然環境保全課
14	野生鳥獣保護対策事業(愛鳥モデル校愛鳥講演会)	愛鳥モデル校(小中11校)	子どもたちの鳥を大切にすることを目的として、愛鳥講演会、野鳥観察会、巣箱の設置方法の講習を行う。	琵琶湖環境部	自然環境保全課
15	鳥獣保護思想の普及啓発(愛鳥週間ポスターコンクールの実施)	小・中・高・盲・聾・養護学校の児童生徒	子どもたちの鳥を大切にすることを目的として、愛鳥週間ポスターの募集、表彰を行う。	琵琶湖環境部	自然環境保全課
16	魚を学ぶ体験学習促進事業	小中学生	醒井養鱒場のさかな学習館、飼育池等の場内施設を活用して小中学生等に対して県内の河川等の魚類や漁業に関する知識の普及と理解に努める。	農政水産部	水産課
17	豊かな内水面漁業情報発信事業	小学生、一般	滋賀県河川漁業協同組合連合会に委託し、遊漁や内水面漁業の振興を図るため、ホームページや広報誌による遊漁の紹介を行うとともに、放流体験学習会や釣り教室を開催する。	農政水産部	水産課
18	みずすまし構想推進事業	県内12流域の地域住民(農家・非農家・土地改良区・行政等)	環境と調和した農業の推進と琵琶湖の環境保全に資するため、農村地域の水質および生態系の保全を目的とした「みずすまし構想」の実現を目指し、地域住民との協働による実践活動の推進を行う。	農政水産部	農村振興課
19	世代をつなぐ農村まるごと保全向上活動支援事業	地域住民(農家・非農家・土地改良区・JA・NPO等)で構成する活動組織	農地や農業用水などを守り、施設の長寿命化や農村環境の向上など、質を高める効果の高い共同活動を、子どもたちから高齢者までの様々な年齢層・立場の人たちの参加を得て取り組むことに対し、農地面積に応じて支援する。地域で取り組む活動を通して、将来の農村を担う子どもたちが、身近な田園環境に触れる機会を持てるように、要件を位置づけている。	農政水産部	農村振興課
20	魚のゆりかご水田推進プロジェクト事業	地域住民および一般住民・小学生	地域住民や一般住民の環境意識の向上、子ども達の環境学習の場としての役割を有している、かつての水田と琵琶湖のつながりを復元する「魚のゆりかご水田」を推進するための支援を行う。	農政水産部	農村振興課
21	家棟川ピオトープ自然観察会	一般県民	家棟川河口右岸に造成された家棟川ピオトープにて「人と自然との新たな関係の構築」を目的とした自然観察会を地域住民、専門家、行政の協働で実施する。	土木交通部	流域政策局
22	木の岡ピオトープ自然観察会	一般県民	大津市木の岡町湖岸の木の岡ピオトープにて自然観察会を地域住民、近隣企業、専門家、行政の協働で実施する。	土木交通部	流域政策局
23	水生生物調査用具の貸出	学校、地域団体等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に対する、必要な用具(ルーペ、網、バット、ザル等)の貸し出し。	甲賀環境総合事務所	環境課

24	水生生物調査用具の貸出	学校、地域団体等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に、必要な用具(顕微鏡、網、バット、ザル等)を貸し出す。	東近江環境・総合事務所	環境課
25	水生生物調査用具の貸出	小学生、中学生、一般県民	水生生物観察会を行う団体等に必要な道具(バット、ザル、虫眼鏡、ピンセット等)を貸し出す。	湖東環境・総合事務所	環境課
26	水生生物調査用具の貸出	管内住民、NPO等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に必要な用具(タモ網、バット、ザル等)を貸し出す。	湖北環境・総合事務所	環境課
27	出前講座	小学生	田んぼの役割や田んぼの生き物の理解を深めるため、小学校に出向き出前講座を行う。	大津・南部農業農村振興事務所	田園振興課
28	環境学習の場としての早崎ピオトープの活用	一般	県が試験的に湛水している早崎ピオトープには数多くの生物が生息しており、環境学習(生物観察会)の場として、自然環境の大切さを考えるきっかけとして活用する。	湖北農業農村振興事務所	田園振興課

## 2 水環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名
1 東近江環境学習講座および体験交流事業	大人と子ども 一般住民	東近江地域の環境について、「山」、「川」、「里」、「湖」の観点から講座を開催し、点ではなく線や面というつながりを持ちながら、五感を使って理解を深める。	東近江環境・総合事務所 環境課
2 浄水場一般開放・施設見学	一般・団体	水道について理解を深めてもらうため、琵琶湖や野洲川から取水した水が水道水になる過程を浄水場で見学してもらう。一般解放は6/1~7の水道週間に実施している。団体の見学については年間を通して申込みがあれば実施している。	企業庁 -
3 水道出前講座	小学生	水道についての理解を深めるため、浄水場見学に来られない学校の希望により、当庁職員が教室に出向いて、浄水場のしくみや仕事についての授業を行う。	企業庁 -
4 確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業	小・中学生	環境の保全やよりよい環境のために、主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育成するための環境教育の在り方、学校間における連続性のある指導内容や発達の段階に応じた体験活動について調査研究を行う。	教育委員会 学校教育課
5 私学経営安定事業(私立学校振興補助金)	学校法人	私立学校を設置する学校法人に対する経常費補助において、滋賀県の自然・文化資産を生かした環境学習等を通じ、滋賀県らしさを身近に感じられる教育活動を行う学校に対し補助を行う。	総務部 総務課
6 びわ湖の日30周年事業	県民すべて	「びわ湖の日」30周年を機に、琵琶湖の価値やびわ湖の日の意義を再認識し、「豊かなびわ湖を取り戻す」「びわ湖にもっとかかわる」という取組を展開するきっかけづくりを行う。	琵琶湖環境部 環境政策課
7 琵琶湖ハンドブックの改訂【びわ湖の日30周年事業】	一般	びわ湖に関する基本的な情報、専門的な知識、過去の活動、未来の琵琶湖像等についてわかりやすく、コンパクトにまとめられたびわ湖の解説書である「琵琶湖ハンドブック」の改訂を行い、びわ湖を知ってもらえるきっかけづくりを進める	琵琶湖環境部 環境政策課
8 びわ湖の日30周年記念シンポジウム【びわ湖の日30周年事業】	一般	びわ湖を守る取組の軌跡、びわ湖を美しくする運動の取組の現状、今後の展望等の講演を含めたびわ湖の日30周年記念シンポジウムを開催する。	琵琶湖環境部 環境政策課
9 教員研修受け入れ	教職員	教員の身近な自然への興味関心を高めるとともに、より高度な博物館利用を促すことを目的として、教職員への研修を実施する。	琵琶湖環境部 琵琶湖博物館
10 体験学習・観察会・講座推進事業	来館の児童生徒 一般団体	子どもたちの身近な自然や暮らしへの興味関心を高め、フィールドへ誘うことを目的として、来館する児童・生徒、一般団体に対する体験学習や観察会・講座を実施するほか、体験学習プログラムの開発を行う。	琵琶湖環境部 琵琶湖博物館
11 サテライト博物館	県内学校	学校で展示会を開催し、教育課程に沿った環境学習を進めるとともに、教員の研修機会を設ける。また学校を含めた地域の環境リーダーを育成する。	琵琶湖環境部 琵琶湖博物館

12	琵琶湖講習	環境活動を行うNPO等	環境活動を行うNPO等の依頼に応じ、実施している試験研究などから得られた知見に基づき、研究職員が講習を行う。	琵琶湖環境部	琵琶湖環境科学研究センター
13	琵琶湖湖上観察事業【びわ湖の日30周年事業】	一般(流域府県含む)	滋賀県において実施する「びわ湖の日」制定30周年事業の一環として、センターの事業紹介を実施するとともに、船上で水中探査ロボットからの映像による湖底観察を体験していただきます(申込方法など詳細は決定次第、琵琶湖環境科学研究センターのホームページでお知らせします)。	琵琶湖環境部	琵琶湖環境科学研究センター
14	滋賀県中学生水の作文コンクール	県内中学生	広く水に対する関心を高め、水資源の重要性などについて理解を深めてもらうことを目的に、県内中学生を対象に「水について考える」をテーマに作文コンクールを実施。	琵琶湖環境部	琵琶湖政策課
15	滋賀県・日釣振合同約大会【びわ湖の日30周年事業】	一般	釣り団体との共同開催により、参加者を募り、釣り上げたブルーギルを食べてもらい、琵琶湖ルールの普及とびわ湖の生態系に対する理解を深める機会とする。	琵琶湖環境部	琵琶湖政策課(レジャー対策室)
16	びわ湖を支える水源の森林体験ツアー【びわ湖の日30周年事業】	一般	基調講演、びわ湖と森林を理解する体験ツアーを企画し、びわ湖のさらに上流に位置する水源林やその森林づくりの視点から、びわ湖の価値を再確認する機会とする。	琵琶湖環境部	森林政策課
17	琵琶湖固有種ワカで学ぶ南湖再生事業	一般	県民参加型事業として、夏休みに公募の親子を対象に学習会を開催する。また、県民や子ども達がチャーターした観光船に乗船し、環境学習を行うとともに船上からワカ稚魚の放流を行う。	農政水産部	水産課
18	びわ湖の「今まで」と「これから」【びわ湖の日30周年事業】	一般	船上からびわ湖を見つめ直し、湖東地域で環境保全活動に取り組んできた「環境フォーラム湖東」の活動報告を含め、「びわ湖の「今まで」と「これから」」について語り合う機会とする。	湖東環境・総合事務所	環境課
19	高島ECO祭り【びわ湖の日30周年事業】	県民全て	びわ湖の日制定から30周年を迎えるにあたり、びわ湖の恩恵を受けている一人ひとりがびわ湖の価値や「びわ湖の日」の意義について考えるきっかけづくりの推進のため、びわ湖をきれいにする取組、豊かなびわ湖を取り戻す取組、びわ湖にもっと関われる取組が県内各地で広く展開されるが、その一環として高島地域において「高島ECO祭り」を開催する。  目的:びわ湖をキレイにし、びわ湖について楽しく学ぶ 午前:湖岸清掃(環境美化活動)、環境学習会(植物の観察、水質検査) 午後:出店企画(フリーマーケット、ごみ分別実践会等)	高島環境・総合事務所	環境課
20	びわ湖フローティングスクール	小学5年生	学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った1泊2日の宿泊体験型の教育を展開する。びわ湖環境学習を通して環境に主体的にかかわる力と、ふれあい体験学習を通して人と豊かにかかわる力の育成を図る。	教育委員会	学校教育課
21	環境教育副読本「あおいびわ湖」等の活用	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	各学校における環境教育を充実・推進するために、環境教育副読本「あおいびわ湖(小学校編)」「あおい琵琶湖(中学校編)」「琵琶湖と自然(高等学校編)」を活用する。	教育委員会	学校教育課
22	環境教育モデル校の設置	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	小・中・高等学校・特別支援学校を対象として応募等により決定し、県内の学校における環境教育の推進を担う。各学校の実態や特徴を生かした創造的な実践活動を展開するとともに取り組みや成果を発表し、環境問題に関する児童・生徒・教員・県民等の意識の高揚と交流を図る。	教育委員会	学校教育課
23	レイクびわテキストプラン	高校生	現在、高等学校で活用している「琵琶湖と自然」を、平成25年度からの新教育課程の実施に合わせた環境教育の推進を図れるよう改訂に取り組む。	教育委員会	学校教育課

### 3 大気環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)	参加団体	大気環境保全に関する県民の意識を高めることを目的として、星空観察という身近な方法による大気環境の調査活動を実施する。(主催:環境省)	琵琶湖環境部	環境政策課

### 4 廃棄物・リサイクル

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 環境にやさしい買い物推進事業	県民、事業者	ライフスタイルや社会のしくみを環境への負荷の少ないものへ転換していくため、「買い物」という誰もが関わりのある身近な行動からの取組を進める。(店頭啓発、店内での啓発イベント実施)	琵琶湖環境部	循環社会推進課
2 淡海エコフオスター事業	住民団体、企業団体等	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るとともに、ごみの散乱を防止するため、ボランティア団体に、定期的・継続的に道路・河川・湖岸等の公共的場所で、美化清掃活動を行っていただく。	琵琶湖環境部	循環社会推進課
3 環境美化活動推進事業	県民、美しい湖国をつくる会	ごみゼロの日、びわ湖の日および12月1日の、年3度の環境美化の日それぞれにおいて県下一斉清掃運動を実施、および「美しい湖国をつくる会」に対して補助する。	琵琶湖環境部	循環社会推進課

### 5 地球環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 低炭素社会づくり学習支援事業	小中学生(学校) 地域住民(地域)	学校や地域において低炭素社会の実現に向けた環境学習の推進を図るため、地球温暖化防止活動推進員等が学校や地域に出向き学習を進める。  ・県内実施校の「低炭素社会づくり授業」 アドバイザー派遣 50回  ・地域団体による地球温暖化対策等の学習 アドバイザー派遣 50回	琵琶湖環境部	温暖化対策課
2 エコドライブ推進事業	県民、事業者	自動車からの温室効果ガス排出を抑制するため、県と運輸関連団体で構成するチームエコドライブが主体となり、啓発や講習会など県民や事業者のエコドライブの推進に向けた取組を行う。	琵琶湖環境部	温暖化対策課
3 「みるエコおうみ」プログラム推進事業	県民	環境意識はあるものの行動に移せていない県民に対し、インターネット上で楽しみながら簡単にCO2削減に取り組めるプログラムを提供し、家族で実践行動に取り組んでもらう。	琵琶湖環境部	温暖化対策課

### 6 エネルギー

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
-----------------	-------	-------	-----	--

### 7 産業と環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 びわ湖環境ビジネスメッセ開催事業	ビジネス関係者・一般	環境産業の振興を図るため、企業・大学研究機関・海外企業・団体による環境ビジネス見本市とセミナーを開催する。	商工観光労働部	新産業振興課
2 農業技術研究会	県民・関係機関	試験研究成果の発表を5部門で行う中で、特に環境にこだわった最新の農業技術をまとめて紹介する。	農政水産部	農業技術振興センター
3 農業大学校開放講座	県民	農業者をはじめとする一般県民に対して環境こだわり農業に関する理解を深めるとともに農業技術の修得するための講座を開催する。	農政水産部	農業技術振興センター

## 8 歴史と環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 文化財保存修理受託事業	一般	国・県指定の文化財建造物は、所有者によって日常管理や屋根葺替が適正に行われてきた。修理に際しても腐朽した木材のみ取り替え、健全な木材は極力再利用されて今日まで守り伝えられてきた。こうしたことを建造物の保存修理に際して行う、現場見学会や小中学生による体験学習、また、文化財講座を通して説明し、文化財保護への理解と、ものを大切に作る心の高揚を図る。	教育委員会	文化財保護課
2 琵琶湖文化 魅力発信プロジェクト 近江水と大地の遺産魅力発信事業	一般	滋賀の特質であり、「近江水の宝」のひとつである琵琶湖のさらなる情報発信を行う為に港と航路の歴史的な調査を実施し、活用につなげる。また、「近江水の宝」として選定した64の宝を中心に、観光振興の素材となるように事業テーマを設定し、活用事業を実施していく。	教育委員会	文化財保護課

## 9 生活と環境

事業名( =23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1 自治振興交付金(たんぼのこ体験事業[食のブランド推進課])	小学生	児童らが、農作物を「育て」、「収穫し」、「食べる」という一連の農業体験により農業への関心を高め、生命や食の大切さを学ぶ場を提供する。(対象経費に対して市町へ交付金を交付する。)	総務部	自治振興課
2 「びわ湖の日にびわ湖の恵みをいただく」推進事業(びわ湖の日30周年事業)	県民および県内の幼稚園、小学校、中学校	びわ湖の日の前の土日に、県内数カ所において漁場直送のコアコ鮮魚の提供、佃煮試食、レシピ配布などを行い、各家庭でコアコの佃煮を作って食べる文化を発祥させる。また、湖魚を県内の学校給食として児童生徒等に提供する。	琵琶湖環境部 農政水産部	環境政策課 水産課
3 みんなが支える環境こだわり農業PR事業	一般	環境こだわり農業の理解を深め滋賀県のスタンダードとなるように消費者、実需者に対し、PR等啓発を図る。	農政水産部	食のブランド推進課
4 「食べることで、びわ湖を守る。」推進事業	小学生、一般	次代を担う子ども達が、滋賀県環境こだわり農業の姿や生産者の取り組み、さらには琵琶湖を守るために県民ができることについて、「食べることで、びわ湖を守る。」を合言葉として総合的に学ぶための学習教材を作成する。	農政水産部	食のブランド推進課
5 ふれあい農業デー	県民	センターを開放して農業の試験研究を理解してもらう中で、特に環境にこだわった農業技術の展示解説を行う。	農政水産部	農業技術振興センター
6 茶業指導所参観デー	県民	茶業指導所を開放して農業とくに近江茶の試験研究を理解してもらう中で、特に環境こだわり農業の技術開発について展示解説を行う。	農政水産部	農業技術振興センター
7 都市漁村青年交流促進事業(マリンカレッジ)	県立大学学生	水産業への理解と関心を深めることを目的に、滋賀県立大学の栄養士を目指す学生を対象に、県漁連青年会の協力のもと、湖魚をテーマにした学習会と料理教室を開催する。	農政水産部	水産課
8 琵琶湖産魚介類食育推進事業	小学5年生	湖魚の食文化の継承、食育の推進のため、「うみのこ」における環境学習の場を活用して湖魚料理の給食の充実を図るとともに、小冊子を作成して事前学習を行う。	農政水産部	水産課
9 棚田保全ネットワーク推進事業	棚田地域および一般	水資源の涵養、生態系の保全、農村景観の保全など多様な役割を担う県内の棚田を継続的に保全するため、地域住民と都市住民(ボランティア)との協働による棚田保全活動を支援するとともに、棚田保全に関する普及啓発を実施する。 また、しが棚田トラスト制度により、個人や企業等から寄付金を募り、保全活動にかかる経費として活用する。	農政水産部	農村振興課
10 エコ交通推進事業	一般	鉄道やバス等の公共交通機関と自転車、徒歩等の組み合わせによる、人と環境にやさしく、利便性が高い交通体系の構築を図るための取組を支援する。	土木交通部	交通政策課
11 琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事業	県内および京都・大阪府内の小学校、特別支援学校(小学部)、および外国人学校等の教育施設(小学校就学年齢に相当する学年)	琵琶湖環状線を利用し、琵琶湖を中心とした滋賀県の地理・歴史・自然等についての学習を深めるとともに、小学生に環境に優しい公共交通である鉄道に親しむ機会を提供するため、琵琶湖一周体験学習等に要する鉄道運賃の一部を補助する。	土木交通部	交通政策課

10 その他							
事業名(=23年度新規事業)	事業の対象	事業の内容			所属名		
1	自治振興交付金(エコライフ地域住民活動推進事業[循環社会推進課])	住民組織	住民組織が中心となって実施するごみ減量・リサイクル、水環境保全、地球温暖化防止などのライフスタイルの変革につながる実践活動および意識啓発活動に要する経費に対して市町へ交付金を交付する。			総務部	自治振興課
2	階層別研修	県職員(新規採用職員)	新規採用職員研修において環境問題に関するテーマを研修内容として組み込む。			総務部	政策研修センター
3	体系的な環境学習推進支援事業(幼児自然体験型環境学習、エコスクール推進事業)	幼児 小中学生 一般	幼児の自然体験型環境学習や小学校等におけるエコスクールの実践等を支援するとともに環境学習の状況調査を実施し、体系的な環境学習の展開を図る。			琵琶湖環境部	環境政策課
4	環境学習センター運営事業	主に環境学習実施者	環境学習を推進する拠点の1つとして、県内の環境学習等を促進するため、インターネットを活用した情報提供、環境学習推進員による相談活動、参考図書等の貸出などを行う。			琵琶湖環境部	環境学習センター(琵琶湖博物館)
5	びわ湖まちかどむらかど環境塾事業	主に各地域の住民	より多くの県民に『マザーレイク21計画』とはなにか、琵琶湖の総合保全とはなにかについて知ってもらい、琵琶湖をもう一度見つめ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を開催する。			琵琶湖環境部	琵琶湖政策課
6	マザーレイクフォーラム推進事業	琵琶湖淀川流域に関わる各主体	県民や環境団体など様々な主体が、各種取り組みへの評価や提案を通じて、マザーレイク21計画の進行管理の一翼を担う『マザーレイクフォーラム』の立ち上げの支援および計画の進行管理を実施する。			琵琶湖環境部	琵琶湖政策課
7	「しがこども体験学校」推進事業	小学1～6年生 事業実施者	<p>「地域が学校、住民が先生」という考え方のもと、自然や地域社会等と関わり合う子どもたちの体験活動を推進する「しがこども体験学校」の取組を周知すると共に、子ども向けの体験プログラムの充実、事業実施者の拡大を図り、体験活動の機会の充実を目的とする。</p> <p>1. 事業の総合的な広報 子ども向け体験活動総合案内冊子の編集・発行 新規登録団体向けリーフレット作成・発行 体験活動情報をまとめたホームページの充実</p> <p>2. 多様な主体者による事業提供の促進 NPO、企業、市民団体等、県・市町行政以外の事業実施者募集 事業実施者、子どもの体験活動の指導者向けスキルアップ研修交流会の開催</p>			健康福祉部	子ども・青少年局
8	保育所職員指導事業	指導者(保育士等)	保育所職員(保育士等)に対する研修会を実施する社団法人滋賀県保育協議会に助成するとともに、保育指導員による保育所への訪問指導により環境保育・学習の研修・指導等を実施する。			健康福祉部	子ども・青少年局
9	21世紀淡海子ども未来会議設置運営事業	小学4年以上 中学3年まで	子どもの人権が尊重され、子どもたちが体験学習等を通じて自ら考え、行動する力を引き出すことを支援するとともに、子どもたちが、環境、福祉など身近な地域の問題を題材に主体的に研修活動を行い、「子ども県議会」等を通じて意見を表明する機会を提供する。			健康福祉部	子ども・青少年局
10	農村地域住民活動支援事業	県内12流域の農村を中心とした団体および地域住民	土地改良事業を実施する団体による農村環境の保全整備を推進する自主的な活動の定着や、持続的な活動の定着を支援する。 農村環境の保全整備を推進するリーダーの育成支援活動を支援する専門家の登録派遣、情報の提供および研修会の開催支援 活動団体の支援体制整備			農政水産部	農村振興課
11	こなん水環境フォーラム	県民	環境保全に関わる団体による交流の場を提供する。テーマは「つながろう！人と人、人と水！」。同時に琵琶湖の漁師料理を囲んでの交流会も開催。			南部環境・総合事務所	環境課
12	環境教育研究協議会	教職員	環境教育の具体的な推進の方策を探り、指導に当たる教員の指導力の向上を目指す。			教育委員会	学校教育課

13	淡海生涯カレッジ開設事業	18歳以上の 県民	地域の中に存在する多様な学習機関との連携・協力を図りながら、広域的で体系的な生涯学習サービスを整備充実するため、環境等をテーマに県内5か所で開催し、日常的な学習から大学の理論的な学習を組み合わせた学習機会の提供を行う。	教育委員会	生涯学習課
14	高等学校等開放講座事業	県民	高等学校等の教育機能を県民に開放し、学習機会を提供する。	教育委員会	生涯学習課
15	学習情報提供システム整備事業	県民	学習情報提供システム「におねっと」による、インターネットでの学習情報の提供および学習相談を行う。	教育委員会	生涯学習課
16	生涯学習推進事業	県民	生涯学習に関する情報を県民に一元的に提供する「しがの生涯学習スクエア」を運営する。また、生涯学習推進員を配置して、生涯学習に関する情報収集・提供・相談および協働のコーディネートを行う。	教育委員会	生涯学習課
17	「地域の力を学校へ」推進事業	学校	「しが学校支援センター」を設置し、地域の様々な人々や企業・団体が、それぞれの持つ豊富な知識や経験を生かして、環境学習など学校教育の場で活動できるしくみづくりを推進する。	教育委員会	生涯学習課
18	子どもの体験活動の機会と場の充実	市町等	「しが子ども体験活動実践交流会」において、地域において子どもの体験活動支援を行う者が集まり、事例発表や意見交流を通じて子どもたちの体験活動の充実や学校支援のための方策等について協議する。	教育委員会	生涯学習課
19	自然体験活動指導者養成事業	県民	自然に親しむ体験活動等の教育的効果を高めるとともに、子どもたちが安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成することにより、青少年の自然体験活動を推進する。	教育委員会	生涯学習課
20	女性団体活動推進事業	県地域女性 団体連合会	女性や地域に関わる様々な現代的な学習課題に対する学習機会の充実に補助する。	教育委員会	生涯学習課
21	図書資料等購入事業	県民	県民の求める多種・多様な学習ニーズに答えられるよう県立図書館の各種資料を充実する。	教育委員会	生涯学習課